いわてのNPO・ボランティア活動情報誌 PIN (Paper Iwate NPO)

パイン

2017年9月発行
VOL.2 秋号

[表紙]もりおかおもちゃ病院inビッグルーフ滝沢

もりおかおもちゃ病院は、盛岡で壊れたおもちゃの修理を行っているボランティア団体です。9月2日は滝沢市にあるビッグルーフ滝沢で行われたイベントに出張参加し、親子が持参した壊れたおもちゃを丁寧に修理しました。普段は毎月第2土曜日に盛岡市総合福祉センターにて開院しています。

[特集]地域をつむぐ「風の人」

パーソナルトレーナー 川上陽子さん …… 2-3
岩手県からのお知らせ …… 4
岩手県社会福祉協議会からのお知らせ …… 5
NPO活動交流センターからのお知らせ …… 6
助成金情報 …… 7
地域で輝く団体 (特非)フードバンク岩手 …… 8

特集

地域をつむぐ「風の人」

パーソナルトレーナー **川上陽子さん**

健康は普遍的な願いだ

地域の活性化に新鮮な風を――。県外から岩手にやって来た若者に、そんな期待を込めるパインの「風の人」特集。今回は、東京生まれの26歳、独身、パーソナルトレーナーの川上陽子さんだ。来県2年目になる今は釜石に暮らし、フリーな立場でNPO法人や釜石市体育協会などが主催する健康教室の講師を務める。地元のアスリートや一般市民を対象とするマンツーマンの身体づくりサポートの仕事もこなす。お年寄りから幼児までを相手に、プロフェッショナルとして「ご自分の身体と向き合うあなたをサポートします」との信念で日々を送る。

自分の身体と向き合って!

東京・渋谷に本部を置くNPO法人ETIC.（エティック）の「右腕プログラム」に応募し、昨年5月に大槌にやって来た。受け入れ先は大船渡のNPO法人さんりくWELLNESS（熊谷侑希代表理事）。このときは1年間の有償ボランティアとしての派遣だった。仮設住宅や公民館での健康教室を担当した。東日本大震災から5年が経っていた。「なんで今更」と言われた。「こんなしんどい中で身体を動かせと言われても」という声も聞いた。「ものすごくよそ者感があった」と正直だ。

だが、フリーとなった今は「相手のことをより理解して活動するためにも1年ではあまりに短すぎると感じています。あと数年は（ここに）いると思う」と話す。

地域の人の近くで

パーソナルトレーナーの資格は、大学卒業後に通信教育で取得。岩手に活動拠点を移す前の2年弱、都内の大手フィットネスジムで働いた。給料は悪くなかった。トレーニングに関する最先端の情報も得られる環境だった。しかし、いつしか「よりクライアントの生活に近い環境に身を置きながら、身体と向き合える仕事がしたい」と強く思うようになった。それは「東京以外」だった。

なぜ、東京以外なのか。「ジムに通ってくださる人は、全人口のわずか3％前後だと知ったとき、残り97％の人たちにとっても健康は普遍的な願いのはずなのに、と思った」。そして「都会では、あふれる情報にどうしても翻弄されがち。情報にではなく、自身とじっくり向き合えるところ、それは地方なのではないか。たとえ情報量が少なくなったとしてもそこに身を置きたい」。そう思った。

「ここへ来て一人ひとりとじっくり向き合う機会が増えました。経済的には特別豊かではありませんが、生活は出来ます。運動指導の帰り際に手作りのご飯を頂いたり、地元の方から採れたての野菜や魚をもらったり……。仕事がない日には東京や大阪の勉強会に行きますが、お給料のほとんどはそれに回っています」と話す。超真面目?ストイック?と水を向けたら、「変人なんです」と笑ってかわされた。

最後に、地元へのメッセージ。「あの時（3・11）のことを思うと…と言葉を失う人も少なくありません。取り残される辛さ、辛い過去を背負いながら生き続ける辛さを拭いきれずにいながらも、何とか歯を食いしばって日々を生きていらっしゃる方々からは、強さを感じます。私の想いは、この世に別れを告げるときに『あの時、助かって良かった』『今日まで生きていて良かった』と思ってもらえること、ただそれだけのような気がしています。それ以上でもそれ以下でもありません。行政の人には、必死に生きようとしている地域の方々の力を信じてほしいと思っていますし、彼らをサポートする私のような存在にもっと耳を傾けてほしい。街の未来をともに考え、つくる存在としてとらえていただきたい、と思っています」

NPO法人 ETIC.

☞http://tohoku.localventures.jp/wp-content/uploads/2017/06/LocalInnovatorsDatabook2016.pdf

「ローカル・イノベーターズ・データブック2016」（上）　副題に「レジリエントな地域コミュニティづくりとアントレプレナーシップの役割」とある。詳細で、極めて興味深い報告書だ。

起業家精神を持って社会のイノベーション（革新）に挑戦しようという若者たちの支援・育成で実績を挙げている。1993年、早稲田大学の学生を中心に起業を目指す若者たちの勉強会としてスタートした。法人化は2000年4月。80人のスタッフを抱え、多様な未来志向のプログラムを展開している。川上陽子さんが活用したのは、その一つ震災復興リーダー支援プロジェクト「右腕プログラム」。復興に向けた事業に取り組むリーダーのもとに「右腕」となる若者を派遣してきた。これまでに150件の事業に250人の人材を送り出している。地元にとっては頼りになる助っ人、若者たちには復興への貢献機会であり、キャリア開発の機会となる。「右腕」を担当するローカル・イノベーション事業部サブマネジャーの押切真千亜（おしきり・まちあ）さんによると、岩手には42人の「右腕」が送り込まれたという。

きっかけは「右腕プログラム」岩手には42人がやって来た

仮設住宅では気分転換効果も

「お元気ですか」「お久しぶりです」

運動と調理実習を組み合わせた「健康教室」は、川上陽子さんが声をかけて始まる。大槌町の仮設住宅の集会所。この日は女性7人、男性1人が集まった。60代から80代。陽子さんが担当する運動の時間は45分。いすに座ったまま脚でボールを隣の人に送る。10分もすると汗ばんでくる。

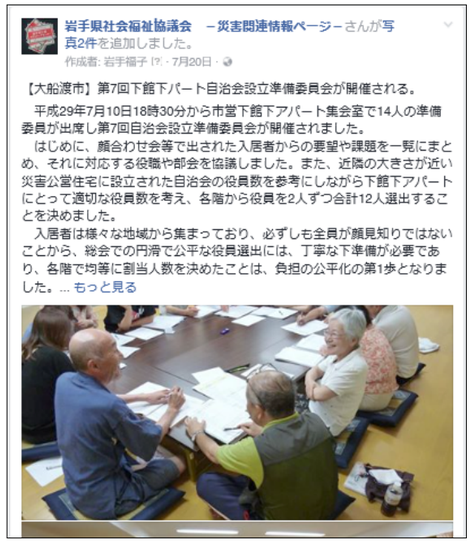
身体を動かす、体幹を鍛える、筋力をつける、じゃんけんなどの脳トレも。メニューは、参加者の年齢層などをみて工夫する。ちょっとした気分転換が一番の効果かもしれない。

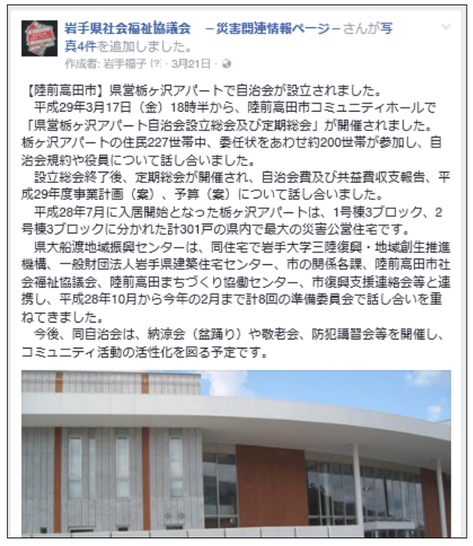
大槌の第5仮設住宅・集会所で、8月29日

Facebookで情報発信!!
岩手県社会福祉協議会 ～災害関連情報ページ～

迅速で役立つ
情報提供、被災者生活
支援の取り組みは
ここから

▶平成28年8月25日にFacebook運用を開始し、初めての記事を投稿しました。
それから数日後の8月30日に台風10号災害が発生。被災地に向かうボランティアさんなどに向けて被災地の様子や災害ボランティアに役立つ情報などを発信しました。





▶ Facebookでは、東日本大震災被災者生活支援の取り組みも投稿しています。現在は、地域住民の支え合いにとって大切な自治会の設立支援の様子について情報発信しています。

【お問合せ先】岩手県社会福祉協議会　ボランティア・市民活動センター
TEL:019-637-4483 FAX:019-637-7592「ずっぱりボランティアいわて」 URL http://iwate-volunteer.jp/

「県内企業×岩手NPO 岩手交流会」を開催します

岩手県内で復興活動や社会貢献活動を行っているNPOの取組みを企業等へ紹介し、連携・協働の取組みへとつなげるきっかけづくりの場として開催するものです。
多くの県内企業の皆様のご参加をお待ちしております。

日　時　平成29年11月6日（月）14：00～17：30
会　場　いわて県民情報交流センター（アイーナ）会議室803
内　容　・県内で行われた企業とNPOの連携・協働の紹介
・県内のNPOの活動発表(15団体程度)
・県内企業等とNPOとの交流

お問合わせ先　NPO法人いわて連携復興センター　TEL:0197−72−6200

NPO法人の運営に係る基礎講習会

NPO法人の運営に必要な基礎知識（総務・労務・会計等）を取得するための講習会を開催します。参加費は無料です。(各日ともに13時開始)

10月13日(金)	釜石地区合同庁舎
10月20日(金)	宮古地区合同庁舎
11月15日(水)	陸前高田市コミュニティホール
12月19日(火)	盛岡市　アイーナ

NPO法人の会計講座

NPO法人新会計基準とNPO会計と税務及びNPO会計ソフトの実技等を習得するための講習会を開催します。参加費は無料です。(各日ともに13時開始)

12月　6日(水)	釜石地区合同庁舎
12月13日(水)	宮古地区合同庁舎
1月22日(月)	大船渡地区合同庁舎
2月　8日(木)	盛岡市　アイーナ

【お問合せ先・お申込み先】NPO法人シニアパワーいわて　TEL:019-626-0098　E-mail zensyo.n@gmail.com

「NPO法人はまゆり復元保存会」が認定NPO法人に、「NPO法人もりねこ」が特例認定NPO法人となりました!
県内の認定NPO法人は14法人、特例認定NPO法人は3法人となりました。

NPO法人はまゆり復元保存会
（認定NPO法人）

代表者:古舘和子　**住所:**大槌町赤浜三丁目2−26
法人設立目的:大津波で民宿「あかぶ」に乗り上げた観光船「はまゆり」を被災当時の状況に復元するために制作し、かつ、保存するための維持管理を行う。もってこれを東日本震災の震災遺構のモニュメントとして、震災の風化を防ぎ、大津波の教訓を後世に語り継ぎ、津波防災教育の拠点とする事を目的とする。

NPO法人はまゆり復元保存会の皆さん

NPO法人もりねこ
（特例認定NPO法人）

代表者:工藤幸枝
住所:盛岡市菜園2-6-6 三栄ビル2F
法人設立目的：野良猫や捨て猫、あるいは飼育放棄された猫の保護及び保護された猫を里親希望者に譲渡する活動を行うとともに、猫の適正飼育などの啓発に取組み、人と猫が共存して暮らすことができる地域社会の実現に寄与することを目的とする。

NPO法人もりねこの皆さん

助成金情報

これから申請できる助成金情報です。
詳細については、実施団体に直接連絡するかホームページをご確認ください。

◇環境の保全

花王・みんなの森づくり活動助成プログラム［支援団体/公益財団法人都市緑化機構］

対象団体／国内で身近な緑を守り、育てる活動に取り組んでいる団体と、身近な緑を活用し、子どもたちに緑との触れ合いの機会を創出する活動に取り組んでいる団体
対象事業／(1)「森づくり活動分野」市民による植樹や樹木の管理、里山や雑木林などでの保全と復元活動など
(2)「環境教育活動分野」緑地や里山をフィールドとした活動で、植樹や里山保全活動などを通じて環境を大切にする心を育む活動

●申込期間/10月14日(土)※当日消印有効　●助成期間/平成30年3月～平成33年3月までの3年間　●助成金額/1年目50万円(2年目50万円、3年目25万円)を上限に助成　●参考URL/https://urbangreen.or.jp/info-grant/kao/minmori2017_boshu

◇まちづくりの推進、環境の保全

第13回 TOTO水環境基金の募集【国内】［支援団体/TOTO株式会社］

対象団体／営利を目的としない市民活動団体（法人格の有無や種類を問わない）
対象事業／(1)地域の水環境や生物多様性の保全・再生につながる実践活動
(2)スタートアップ・ステップアップをめざす市民団体の活動

●申込期限/ 10月15日（日）※当日消印有効　●助成金額/ 1件当り80万円/年×3年（最大240万円）
●参考URL/ http://www.toto.co.jp/company/environment/mizukikin/group/index.htm

◇コミュニティスポーツの推進

スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム［支援団体/公益財団法人住友生命健康財団］

対象団体／民間の非営利団体（法人格の種類や有無を問わない）、あるいは、民間の非営利団体を含む複数の主体によるチームであること
対象事業／(1) 特定の地域を拠点として独自のコミュニティスポーツに取り組むもの
(2) 異なる地域を拠点とする複数の主体がチームを作って協働し、コミュニティスポーツの発展と展開に取り組むもの

●申込期限/10月2日（月）～10月16日（月）必着　●(1)上限金額/1件当り50万円　(2)上限金額/1件当り200万円
●参考URL/ http://www.skzaidan.or.jp/#sport_application

◇子供の健全育成

楽天 未来のつばさ［支援団体/公益財団法人 楽天 未来のつばさ］

対象団体／児童養護関連団体で事業計画に従って遂行に足る能力を有する団体であること
対象事業／(1)児童養護関連プロジェクトで、そのテーマや内容が子どもの権利擁護、子どもの最善の利益に資するものであること
(2)児童養護関連プロジェクトに於いて、そのプロジェクトの計画性及び方法が目的を達成するために適切で、かつ支援によりプロジェクトの効果が十分発揮できると認められたものであること。

●申込期限/10月2日（月）～11月30日（木）　●上限金額/1件当り30万円
●参考URL/ http://mirainotsubasa.or.jp/institution/outline/

◇被災地コミュニティ支援

平成29年度 第5回被災地住民支え合い活動助成［支援団体/社会福祉法人岩手県共同募金会］

対象団体／ボランティア団体（自治会・町内会を含む）ＮＰＯ法人、社会福祉協議会等を対象
対象事業／(1)岩手県内の仮設住宅・復興公営住宅等の住民を対象にした孤立を防ぐ活動、日常生活を支える活動コミュニティ再生を目的とした支援活動で中期的に（概ね 3 か月間以上）行われる活動。
(2)中期的ではない活動（1 日限り・1回限り等の限定的な活動を含む）であっても、団体自らの復興支援活動につながるものや仮設住宅等から新たなコミュニティに移転した被災者の孤立・孤独防止を目的として行う活動

●申込期限/10月2日（月）～11月30日（木）　●(1)上限金額/1件当り30万円　(2)上限金額/1件当り10万円
●参考URL/http://www.akaihane-iwate.or.jp/jyosei/sasaeai.html

◇環境の保全

2018年度　環境市民活動ＮＰＯ活動自立強化助成［支援団体/一般財団法人セブンイレブン記念財団］

対象団体／「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証され、かつ法人として３年以上の活動実績のあるＮＰＯ法人
対象事業／助成期間内に事務所費・専従職員の人件費などの財政基盤を強化するため、安定的に活動を継続できる自主事業の構築・確立を目指す環境ＮＰＯ法人を支援します。

●申込期間/11月1日（水）～11月30日（木）※当日消印有効　●上限金額/1件当り400万円(事業費と人件費)
●参考URL/http://www.7midori.org/josei/index.html

◇学術・文化の振興、就労支援、子供の健全育成

公益財団法人森村豊明会 助成金［支援団体/公益財団法人森村豊明会］

対象団体／社会奉仕の精神と志に富み、公益性かつ実効性の高い事業を行う団体を対象
対象事業／(1)学術及び科学技術の振興を目的とする事業
(2)文化及び芸術の振興を目的とする事業
(3)労働意欲のある者に対する就労の支援を目的とする事業
(4)公衆衛生の向上を目的とする事業
(5)児童または青少年の健全な育成を目的とする事業
(6)教育・スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業

●申込期間/10月1日（日）～12月14日（木）必着　●上限金額/1件当り200万円
●参考URL/http://morimura-houmeikai.jp/recruitment/

知ろう!認定NPO法人のこと

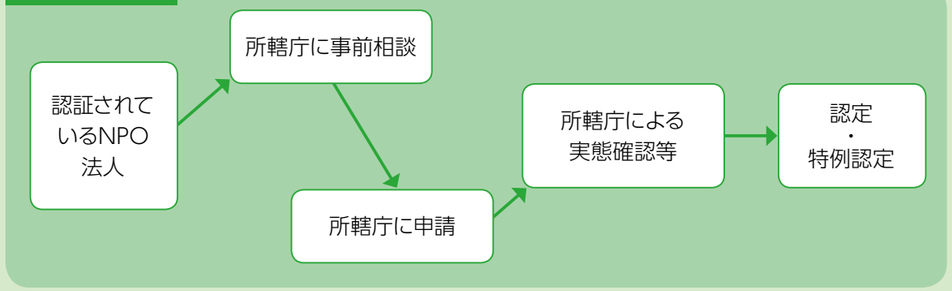
平成24年4月1日に改正施行された認定NPO法人制度、岩手県では現在14法人が認定されています。認証されているNPO法人は494団体（平成29年8月末現在）なので、全体の3%に満たない状況です。寄附者への呼びかけのためにも、制度を知り、「メリット」を理解しましょう！

認定NPO法人とNPO法人、どこが違う?

「認定NPO法人」とは、NPO法人のうち所轄庁（都道府県等）が「一定の基準に適合したもの」と認めた法人のことです。

NPO法人は、比較的形式的に「公益性がある団体であるか」を判定し認証されているのに対し、認定NPO法人はより高い税制優遇制度を適用するため「運営組織及び事業活動が適正であって公益の増進に資する」ことを認定された法人です。

認定までの流れ



認定NPO法人になることによる税制上のメリット

1. **個人が認定NPO法人に寄附をした場合**は、「寄附金控除」制度が適用され、確定申告することで、「寄附金控除」を受けられます。
2. **法人が認定NPO法人に寄附した場合**は、「特別損金算入限度額」扱いとなり、一般のNPO法人への寄附と比べ、経費として損金に算入できる金額が拡大されます。
3. **相続人が認定NPO法人に相続財産を寄附した場合**は、寄附した相続財産は相続税が非課税になります。
4. **認定NPO法人自身が法人税法上の収益事業を行った場合**は、「みなし寄附金制度」により収益事業にかかる法人税が軽減されます。

N活の講座・相談会の開催

NPO基礎講座

NPO法の基礎などについて学びます。

日時　10月12日(木)　①14:00～15:30　②19:00～20:30
11月 9日(木)　①14:00～15:30　②19:00～20:30
場所　アイーナ6F　団体活動室1
定員　各回　5名　※終了後、個別相談会あり
講師　NPO活動交流センタースタッフ
お申込み・お問合せ先
NPO活動交流センター　TEL:019-606-1760　メール n-katsu@aiina.jp

（特非）フードバンク岩手

「もったいない」を「ありがとう」に

団体情報　特定非営利活動法人フードバンク岩手
理事長／伊勢　昭一
盛岡市上ノ橋町1-50岩織ビル3-7
メール　foodbankiwate@gmail.com
TEL&FAX　019-654-3545

災害支援から見えてきた地域の現状

東日本大震災直後、県内外から集まった支援物資を仕分け、配送、お届けする活動を通じて、緊急時とは別に通常時の困難な現状が見えてきました。そこには、現代の日本における深刻な社会問題として『子どもの貧困』があります。食べることに困っている人たちがいます。災害発生時の中長期的な避難生活で必要な物資の支援は日本全国にあっという間に拡がりますが、通常生活の中に潜む貧困問題への関心はまだ低いのが現状です。命をつなぐ大切な食糧は、社会のセーフティネットの要の1つです。

岩手県の貧困率は約16％（2012年国民生活基礎調査）で、6世帯に1世帯が生活困窮と言われています。

特にも1人親世帯のほとんどが母子家庭であり、その就労については、土日勤務が70％を超えています。早朝や夜間勤務も多く、子どもが放課後1人で過ごす割合も高いのです。学校があるときは、給食が栄養補給の機会なのですが、学校が長期休暇の時には、食事がままならないケースも散見します。子どもの成長や躾などの相談はできても、経済的な相談をできないという人も30％弱おり、子どもたちがその生まれ育った環境によって左右されることがないような支援が必要です。

回収ポストへの提供風景

はじめよう、フードドライブ

そこで、フードバンク事業を始めました。賞味期限内でまだ食べられるのに印字ミスや箱の破損などで販売できない食品を企業から寄贈していただいたり、生産者や市民から提供をしていただいたりした食料を生活困窮者や児童・障がい者施設などに繋ぎます。活動の中で私たちが大事にしていることは、市民の皆さんから提供していただくことです。事務所に持参、あるいは郵送していただくほか、県内19箇所に回収ポストを設置しています。

直接関わるボランティア活動が苦手な人も、手元にある1品、2品を提供することで始まる支援のカタチがここにあります。

長期休暇前の箱詰め作業は、学生ボランティアが大活躍!

皆さまから提供いただいた食品は、ボランティアの協力のもと家族構成や状況、アレルギーの有無などを参考にセットを作ります。それらを、顔を見ながら食品を手渡すことで、信頼関係ができます。

フードバンクの活動は、食品を渡す行為を通じて、生活課題の根本的な解決を目指す後方支援なのです。

「フードドライブ冬の陣強化月間」10/10～11/10

いただきもの、買いすぎたもの保管されている食料品をフードバンクを通じて、寄付しませんか?

阿部知幸事務局長

編集後記

ETIC.を知らなかった。四半世紀近い時間の中で確かな実績を重ねているNPO法人だ。自分の情報不足が恥ずかしい。電話で取材させてもらったが、その対応の謙虚で丁寧なのに感動した。当人が楽しく、誰かのためにも。他者との関係性と情報の大事さを教えていただいた。(N.T)

NPO活動交流センターのHPでは、様々なイベント情報や助成金情報を掲載しています。
みなさまからの市民活動情報や「パイン」への取材依頼もお寄せください。

URL：http://www.aiinanpo.org/　E-mail：n-katsu@aiina.jp

アイーナ　N活　検索

Twitter フォローお願いします!!!
https://twitter.com/aiinaNPO

Facebook いいねお願いします!!!
https://www.facebook.com/aiinaNPO

いわてのNPO・ボランティア活動情報誌　PIN　パイン
平成29年9月30日発行　発行／NPO活動交流センター　〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1
いわて県民情報交流センター「アイーナ」6F　TEL：019-606-1760　FAX：019-606-1765
※パイン（PIN）は、年4回、各5000部を発行しています。1部あたりの単価は59.2円（通信費を除く）です。